



ヘッドフォン専用アンプ

Ea1

DAC 搭載機種は『E1』となります

『創造』は井深さんが好きだった言葉。
いっさいの妥協をせず、徹底したこだわりで、唯一無二の世界最高峰を。
Hi-Vision LD、Blue-spec CDの生みの親で
Blue-ray Mastering Headを開発し世界的に普及させた
ソニー開発部門出身の中山邦男が技術屋魂を込めて開発した初作。
月産最大1~5台予定。
開発設計者自らが一台一台を手作りで製造します。



妥協なき究極の原音再生のために一切の装飾を排して、Direct、Straight、Pureな設計思想を徹底。信号増幅では小型筐体により最小距離の配線、回路基板を新開発。

- ・ 帰還型として世界初『Current Drive（電流駆動型）』信号増幅回路（特許申請中）
 - ・ 従来必要とされたインピーダンスに依存するヘッドホン毎のゲイン切り替えが不要に
 - ・ 圧倒的なドライブ能力と限りなく原音に忠実な音場&超解像度を両立
- ・ 4重安定化電源 & コンデンサーの癖を廃した各増幅段電源駆動（特許申請中）
- ・ 業界規格外の超厚銅箔4層基板
 - ・ 電源、GND配線用第2層、第3層には200 μ mの分厚い無酸素銅
 - ・ 超低インピーダンス配線によるハイスピード、超高解像度を実現
 - ・ 信号用に第1層、第4層は標準35 μ m以下のところ銅厚約100 μ m
 - ・ アナログ部はレジスト塗装せず金フラッシュ仕様
- ・ 選び抜いた最高品質の部品を使って試聴を繰り返してチューニング
- ・ 航空機グレードのアルミニウムブロックから削り出した堅牢な筐体
- ・ 予定価格：170万円（税別）税込183万6千円（2015年6月発売予定）
 - * Ea1専用『木製ハイブリッド構造スパイク脚』『木製縦置きスタンド』を同梱予定
 - * DACを搭載した上位機種『E1』発売中：190万円（税別）税込205万2万円